



# 豊岡市立歴史博物館 ニュース

—但馬国府・国分寺館—

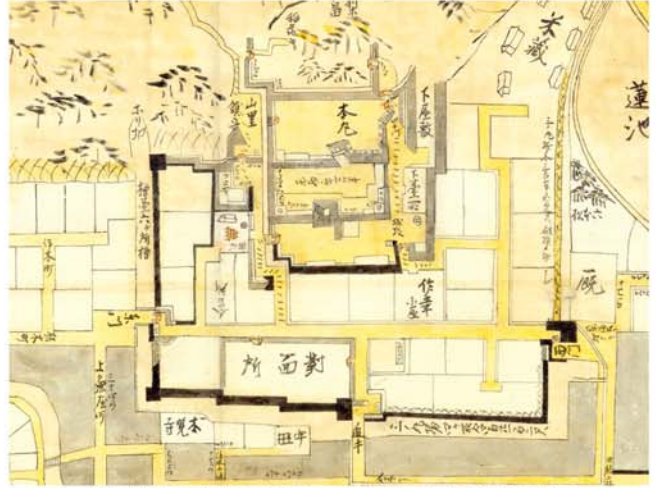
2016.6 第45号

豊岡市立歴史博物館  
—但馬国府・国分寺館—

〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祇布 808  
TEL 0796-42-6111 fax 0796-42-6112  
http://www3.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/



出石城全景



「但州出石御城下之図」 豊岡市教育委員会蔵



旧豊岡県庁の門（豊岡陣屋跡）



「豊岡之図」 豊岡市教育委員会蔵

第38回  
企画展

## 知られざる!! 豊岡の二大城

江戸時代、現在の豊岡市は出石藩と豊岡藩、2つの藩にわかれていました。各藩の政治の中心は出石城と豊岡陣屋でした。豊岡市教育委員会では近年、この2つの「城」を発掘調査しており、新しい発見が増えてきています。

また当時の絵図を分析することで、城下町の特徴的な構造が現在でも残っていることがわかってきています。

今回の企画展では発掘調査成果と絵図等から当時の景観を復元し、2つの城と城下町を紹介します。江戸時代の出

石と豊岡の人々はどんな「城」や景色を眺めていたのか、思いを馳せていただければ幸いです。

※陣屋は主に居住のための施設で軍事施設としての役割は小さかったため、「城」には含めない場合がありますが、この展示では藩庁が置かれた点を重視し、「城」に含めます。

- 会 期 平成 28 年 6 月 24 日(金)～9 月 27 日(火)
- 展示協力 西尾 孝昌氏 吉田 順一氏  
(順不同) (株)川嶋建設 中村石材工業(株)

## 出石城

出石城は慶長9（1604）年、小出吉英よしふさによって有子山麓に築かれた城で、最上段に稲荷曲輪くわらわ、その下に本丸、二の丸などが配置されています。

有子山を背にし、東西の斜面に塹堀、西側に蓮池、城の周囲には水堀と土塁を巡らせ、重要な三御門（大手門・東門・西門）には枡形虎口ますがたこぐちを造って防御を固めていました。

城下を蛇行する谷山川と、北流する出石川からなる外堀によって町全体を囲い込み、いわゆる「惣構そうがまえ」を形成していました。なお、一国一城令により出石城が但馬国唯一の近世城郭となっています。



出石城出土遺物 豊岡市教育委員会蔵

## 出石城の発掘

出石城では近年発掘調査を行ない、新しい成果があがっています。江戸時代の絵図は必ずしも正確に描かれているものではなく、発掘調査によって絵図の通りに発見されたり、まったく違ったものが発見されたりすることがあります。

### 本丸庭園

「出石城之図」には、本丸の南東隅にひょうたん形の池が描かれ、現地にも古くから周りをひょうたん形に石組みで囲った池がありました。

平成18～19年度の発掘調査で、現在の石組みは明治時代以降に造られたもので、江戸時代にはもうひとまわり大きい池が存在していたことがわかりました。



本丸庭園調査風景



本丸庭園調査区全景

### 本丸虎口

「出石城之図」によれば、本丸建物と二の丸建物を階段状の渡り廊下でつなぐ珍しい構造になっています。

発掘調査では、北向きに下っていくスロープの一部と、それに直交する石段を発見しました。



本丸虎口調査風景



本丸虎口石段

### 二の丸埋没石垣

「出石城之図」では、二の丸北東すみやぐらに隅櫓と大書院の一部が描かれている場所です。

発掘調査では当初予想された隅櫓の石垣は発見されず、絵図などでも確認されていなかった虎口の石垣と石段、さらにそれを塞ぐ石垣の一部が発見されました。

虎口は石垣の積み方などから文禄年間（1592～1595）のものと考えられ、出石城が築城されるより前の、有子山城に付属した居館のものと考えられます。また、それを塞ぐ形で積まれていた石垣は、築城当時のものと思われる。



二の丸埋没石垣

## 豊岡陣屋

豊岡陣屋は寛文8(1668)年に京極高盛が田辺藩(京都府舞鶴市)から移り、戦国時代の豊岡城が建っていた神武山麓に整備したものです。外堀にあたるのは、大正11(1922)年～昭和9(1934)年に改修工事が行われ今は廃川となっている旧円山川で、現在の大磯町のあたりで大きく蛇行していましたが、戸牧川、旧さとう(正法寺池)、豊岡高校グラウンドを結ぶラインが内堀にあたります。

一国一城令により但馬国の城は出石城のみとされたため、豊岡藩には城は築かれませんでした。



豊岡陣屋出土遺物 豊岡市教育委員会蔵

## 豊岡陣屋の発掘

平成5～9年にかけて発掘調査を行いました。調査の結果、遺構面(昔の建物などがあつた面)は織豊期(戦国時代後期)、江戸時代前期、江戸時代後期～明治時代初期の3期に分かれることがわかりました。石垣や堀なども見つかり、非常に重要な成果があがっています。

### 戦国時代後期

周囲に排水溝をもった掘立柱建物の一部が発見され、中央付近には3つ連続したカマドが見つっています。カマドに使われた石材は玄武岩でした。他に貯水のためと考えられる池や溝なども見つっています。



掘立柱建物

玄武岩を使ったカマド

### 江戸時代前期

南北約27m×東西約14mの石垣がL字形に発見されています。江戸時代の豊岡藩政庁(今でいう県庁)の基礎となった遺構と考えられます。また、搦手門(城郭で裏門にあたる門)の跡と思われる礎石が石垣にともなう形で出土し、その位置関係は絵図「豊岡之図」に描かれた状況とほぼ一致しています。



石垣北東隅角

搦手門礎石と石垣

### 江戸時代後期～明治時代初期

玄武岩を礎石に使った建物の跡が多く発見されており、豊岡藩政庁にともなう建物と考えられています。また江戸時代前期の石垣を西に継ぎ足した部分が発見され、豊岡陣屋の敷地が補修されながら明治時代まで使われていたことがわかりました。



玄武岩を礎石に使った建物

東西石垣継ぎ足し部分

## ● その後の出石城・豊岡陣屋と城下町

明治時代になり出石城と豊岡陣屋は取り壊され、城下町も近代化にむけて様々な手が加えられます。

### 出石の城下町

江戸時代、出石の城下町は但馬の中心として碁盤の目のように整備され、現在でも「但馬の小京都」とよばれる町並みが保存されています。他にも敵の侵入を阻むための「くいちがい」や「虎口」の痕跡が残っていたり、外堀の痕跡が道路の道幅として残っていたりします。

### 豊岡の城下町

江戸時代、豊岡の町は現在のような但馬の中心地ではなく比較的小規模な城下町でしたが、出石城下町と同じような「くいちがい」の痕跡などが現在でもみられます。また円山川の川筋は、現在では改修工事により流れが変わり護岸整備も施されていますが、当時の面影を残している箇所もあります。



辰鼓楼 (出石城大手門跡)



「豊岡街並絵図」

## ● 出石城発掘調査速報

出石城では、平成26～28年度にかけて発掘調査を行なっています。特に山里曲輪については江戸時代の絵図などを見てもわからないことが多かったのですが、発掘調査で埋没した石垣が見つかるなど新しい成果もあがっています。また山里曲輪の石垣の一部は崩落の危険性があったため、現在解体修復工事を行なっています。



出石城山里曲輪石垣修復工事

## ● お知らせ

### ■講演会「豊岡の二大城！！」

日 時：9月10日(土) 午後1時30分～  
会 場：日高農村環境改善センター多目的ホール  
講 師：西尾孝昌氏(山名氏城跡保存会会長)  
\*資料代100円。予約は不要です。

### ■第28回ミニ企画展

「世界のクワガタと日本のクワガタ」  
会 期：7月16日(土)～8月30日(火)  
会 場：豊岡市立歴史博物館 総合学習室  
\*ミニ企画展のみの観覧は無料です。  
\*常設展・企画展の観覧は右記の料金が必要です。  
共 催：兵庫県立人と自然の博物館  
豊岡市立コウノトリ文化館



他にも事業があります。詳細はホームページで。

## ● 豊岡市立歴史博物館のご利用案内



平成27年4月1日、  
館名が変わりました！

博物館キャラクター  
たじまろ・くにひめ

- 開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休 館 日 水曜日  
年末年始(12月28日～1月4日)
- 入 館 料 一 般 500(400)円  
高 校 生 200(150)円  
小中学生 150(100)円  
\* ( ) は20名様以上の団体料金  
\* 県内小中学生は無料(ココロカードを提示してください)  
\* 65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は半額
- 最新情報はホームページをご覧ください。  
<http://www3.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/>
- facebook ページ公開中！  
<http://www.facebook.com/tajima.kokubunjikan>